

緩和ケアの ちょっと タメになる話

Vol.9

第9回のテーマはこちら

「オピオイドとブプレノルフィン(レペタン)」

～一緒に使うとどうなるの？～

オピオイドとレペタン。どちらも鎮痛薬ですが、実はあまり仲が良くないのをご存じですか？

レペタンは麻薬(オピオイド)拮抗性鎮痛薬と呼ばれています。

麻薬拮抗性とは、麻薬と併用することで麻薬の作用を弱めてしまうということです。

なぜ同じ鎮痛薬なのにそのようなことが起こるのでしょうか？

多くの薬はそれぞれの薬に対する受容体を持っています。

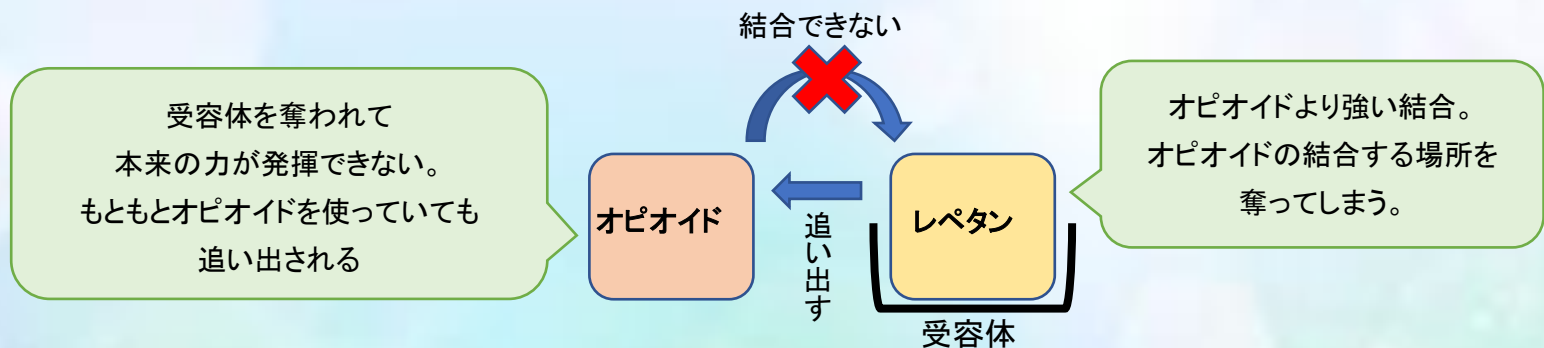
その受容体と薬が結合することで薬の効果が発揮されます。

オピオイドとレペタンは同じ受容体に結合するという特徴を持っています。

つまり、受容体の取り合いになってしまうのです。

さらに、取り合いになった時、オピオイドよりレペタンの方が結合する力が強いので、

オピオイドが受容体に結合できなくなり、オピオイドの効果が発揮できなくなってしまいます。



基本的にはオピオイド使用中の患者にレペタンは使いません。

併用するとオピオイドの効果を弱めるだけでなく、オピオイドの退薬症状が出ることもあります。

しかし、例外もあります。レペタンはモルヒネの約40倍の鎮痛効果があるとされており、

どうしても痛みが取れないときにその場しのぎとして使う方法もあるため、

併用する際は退薬症状に注意して観察を行いましょう。